

記者発表（配付）資料

令和5年1月11日

所属部課	局 長	課 長	課長補佐	担 当	連絡先
萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課	井本 義則	小野 彰彦	大平 展子	中村 后咲	0838-25-3511

件 名	第15回萩市役所ロビーコンサートの開催について ～お昼休みの市役所ロビーで憩いのひとときを～
-----	--

市民の皆さんに親しみやすい明るい市役所の雰囲気づくりと、市民の文化意識の高揚を図ることを目的に、お昼休みの時間帯を利用した市役所ロビーコンサートを定期的に開催しています。

第15回は、烏田和美さん、山根浩志さんによる歌唱とピアノの演奏です。

お昼休みの市役所ロビーで、憩いのひとときを過ごしてみませんか？

記

1 開催日時 令和5年2月1日（水） 午後12時15分～午後12時45分

2 会 場 萩市役所 ロビー（入場無料）

3 演 奏 者 からすだかずみ 烏田和美（歌唱）・ やまねひろし 山根浩志（ピアノ）



【烏田和美プロフィール】

山口県萩市出身。長崎市在住。小学生時代、所属した合唱団でソリストを務めたのがきっかけとなり独唱の道へ。山口県学生音楽コンクール独唱部門で中・高校生時代を通して三度1位を獲得。東京純心女子短期大学音楽科声楽主科卒業。その後、第30回山口県芸術祭で山口県交響楽団と共演し組曲「吉田松陰」に千代役で出演するほか、航空自衛隊の音楽隊の各演奏会にゲスト出演するなど、多彩な音楽活動を行っている。

【山根浩志プロフィール】

国立音楽大学卒業。第1回 横浜国際音楽コンクール アンサンブル部門 第1位受賞。第9回 日本アンサンブルコンクール連弾の部 優秀演奏者賞受賞等、数々の賞を受賞。2015-2018年にはベトナム、バンコクにてコンサートを開催。国内のみならず、世界で演奏活動を行っている。現在、九州女子大学・短期大学講師、山根浩志音楽教室 Windera 主宰、山口県立萩看護学校講師、徳山看護専門学校講師を務めている。

4 演奏曲目 「夕やけこやけ」、「赤とんぼ」、「冬景色」など

5 次回日程 3月1日（水） 椿フレンズ（コーラス）

記者発表（配付）資料

令和5年1月11日

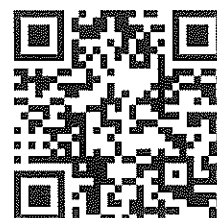
所属部課	部 長	課 長	課長補佐・担当	連絡先
萩市総合政策部 おいでませ、豊かな暮らし応援課	肌野 次雄	江村 友成	鋤物佳代子	(0838) 25-3360

件 名	海辺のマチに、逢いにいく。ー萩と阿武ー 萩阿武広域イベントの参加者募集について
-----	--

萩市と阿武町では、萩市・阿武町定住自立圏共生ビジョンに基づいた施策を展開しています。
この度、萩市と阿武町に興味や関心を持っていただくため、地元で活躍中の地域おこし協力隊が、関東在住の方を対象に交流会を開催します。
移住スカウトサービス「SMOUT」や、はぎポルトSNSなどでもPRを行います。

記

1. 日 時：令和5年2月11日（土・祝）午後1時30分～午後5時30分
2. 場 所：HAPON（東京都新宿区西新宿7-4-4 武蔵ビル5階）
3. 参 加 費：無料
4. 募集人数：30名
5. 申込方法：
お申込み URL ▶<https://yamaguchi-iju.com/2023-umibenomachi/>
6. 内 容：コロナをきっかけに、「これから、どこでなにをしてだれと暮らしていくか」を改めて考えた方が多いと思います。参加者が今考えていることを聞き、みんなで共有し、2つのまちで何ができるかを考えるイベントです。
まずは、2つの海辺のマチに、逢いにきてください。
7. 主 催：萩・阿武定住自立圏交流・移住・定住促進協議会
8. 企画運営：山口移住計画

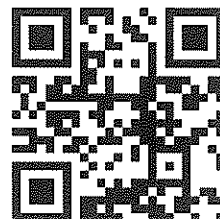


申込・詳細は
こちら

<タイムスケジュール>

時 間	内 容	備考
13:00	受付開始	
13:30	オープニング	
13:50	【トークセッション】 ゲストスピーカー <萩市> 吉田知弘さん（㈱ヨシダキカク代表・萩市地域おこし協力隊 OB） <阿武町> 吉岡風詩乃さん（阿武町暮らし支援センタースタッフ） <阿武町> 藤尾凜太郎さん（阿武町地域おこし協力隊）	
14:20	地域からの説明	
14:30	ブレイクタイム	夏みかんジュース キウイジュース
14:40	暮らしについて考えるワーク	
15:30	ブレイクタイム	夏みかんジュース キウイジュース
15:40	テーマについて考えるワーク	
16:05	地域課題や全体のトーク	
16:30	交流タイム	
17:30	終了	

前回（2019 年）のイベントの様子



記者発表（配付）資料

令和5年1月11日

所属部課	部 長	課 長	担 当	連絡先
萩市保健部 地域医療推進課	田中 慎二	中村 雄一郎	中村 雄一郎	0838-25-2182

件 名	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う発熱外来の機能確保のための対応について ～基礎疾患のない軽症状者には診療の代わりに抗原検査キットを無料配布～
-----	--

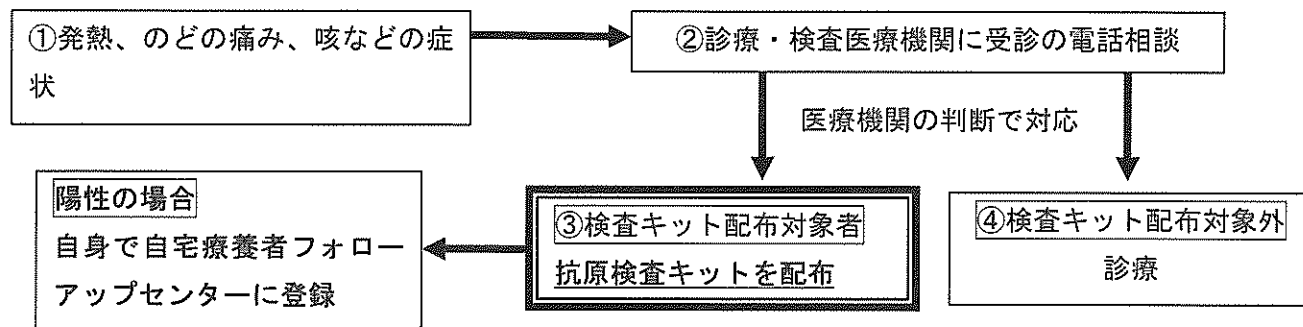
新型コロナウイルスの感染拡大により、萩医療圏の診療・検査医療機関において発熱外来患者の受診が集中した場合、医療提供体制に支障を来し、一般診療を含め、診療を受けられない患者が発生することが懸念されます。

そのため、萩市（休日急患診療センター）及び圏域内の診療・検査医療機関において、発熱やのどの痛み、咳などの症状がある場合で症状が軽い方には、各医療機関の判断で、抗原検査キットを無料配布し、自己検査していただく対応とすることになりましたので、お知らせします。

1 抗原検査キット配布の対象者

- (1) 16歳以上64歳以下の方
- (2) 熱が37.5℃未満や軽いのどの痛みなど、症状がごく軽い方
- (3) 糖尿病や高血圧などの基礎疾患がない方
- (4) 妊娠をしていない方

2 抗原検査キット配布の流れ



※症状があつて抗原検査キットの配布のみを希望される場合は、萩市休日急患診療センターでも検査キットを無料配布（土曜日を除く。事前予約必要、電話 0838-26-1397）するほか、山口県においても、一定の有症状者を対象とした抗原検査キットの無料配布をしています。

3 対応期間 令和5年1月11日（水）から当分の間（感染拡大状況を踏まえて検討）

4 担当窓口・問い合わせ先 萩市地域医療推進課 電話 25-2182

記者発表資料

令和5年1月11日

所属部課	事務局長	課長	係長	担 当	連絡先
萩市教育委員会 事務局 スポーツ振興課	井本義則	増野達史	蜷川大介	大山蒼一郎	0838-25-7311

件 名	萩往還ワンデーウォーク2023の開催及び参加者募集開始について
-----	---------------------------------

維新の志士たちが駆け抜けた歴史の道「萩往還」で、国の重要伝統的建造物群保存地区の佐々並市や各所史跡を巡る「萩往還ワンデーウォーク2023」について、下記のとおり参加者の募集を開始します。

今回は、佐々並コース・明木コースの2コースで実施します。

記

- 1：開催日 令和5年3月11日（土）雨天決行
- 2：コース ①佐々並コース 旭活性化センター ～ 萩市民体育館（17.3km）
受付 7：30～8：30（旭活性化センター）
出発式 8：45～8：55
スタート 9：00（ブロックスタート）
②明木コース 旭イベント広場 ～ 萩市民体育館（8.3km）
受付 8：30～9：30（旭イベント広場）
出発式 9：45～9：55
スタート 10：00（ブロックスタート）
- 3：参加資格 小学生以上（小学生は保護者同伴）
- 4：定 員 各コース先着500名
- 5：参加料 1,000円（高校生以下は無料）
- 6：申込方法

参加申込用の専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、参加費を添えて、①萩市民体育館へ持参、②お近くのゆうちょ銀行または郵便局窓口（所定の振込手数料がかかります）にてお申し込みください。定員に達し次第、申込を締め切り、萩市スポーツ振興課のHPでお知らせしますので、お申込み前に必ずご確認ください。

- 7：申込期限 2月10日（金）まで

※但し、定員に達し次第締め切ります。

- 8：主 催 萩往還ワンデーウォーク実行委員会（会長：松村孝明）

記者発表資料

令和5年1月11日

部 課 名	部 長	課 長	課長補佐	担 当	連 絡 先
萩市商工観光部観光課	小川 政則	服部 哲也	角屋 祐一郎	高杉 正毅	0838-25-3160

件名	第6回 萩市笠山椿群生林再生保全検討委員会の開催について
----	------------------------------

笠山の椿群生林の整備開始から50年以上が経過していることから、群生林にも樹勢の衰退が見られるようになり、今後50年に向けた再生への検討が求められています。そのため、有識者を含めた「笠山椿群生林再生保全検討委員会」を令和3年1月に設置し、群生林の再生に向けた将来像を協議しています。

このたび、第6回目の検討委員会を開催するので、お知らせします。

■日 時：令和5年1月17日(火) 午後2時～

■場 所：萩・明倫学舎3号館 2F 交流室（大）（萩市大字江向602）

■議 事：・試験伐採をふまえた将来計画について
・笠山椿群生林再生保全検討委員会の報告書作成について
・その他

■委員の出席者（予定）

- ・津川 誠司【副会長】（越ヶ浜自治会会長）
- ・箱田 ^{なおとし}直紀（リモート）（日本ツバキ協会会長）
- ・濱野 ^{ちかやす}周泰（リモート）（東京農業大学客員教授）
- ・山崎 ^{まさこ}誠子（リモート）（日本大学短期大学部准教授）
- ・増野 和幸（下関市豊田ホテルの里ミュージアム館長）
- ・樋口 尚樹（松陰神社宝物殿至誠館館長）
- ・児玉 昇（萩市花と緑のまちづくり推進協議会会長）

■前回までの検討委員会の内容（概要）

- ・第1回 委員会：椿群生林の保存管理、椿群生林の植生、令和2年度椿群生林再生試験の提案
- ・第2回 委員会：現状報告
- ・第3回 委員会：植生による「すみわけ」と再生部分、令和3年度試験伐採
- ・第4回 委員会（書面）：第3回検討委員会報告、シンポジウム報告、再生試験業務報告
- ・第5回 委員会：令和4年度試験伐採、今後の将来計画

記者発表（配付）資料

令和5年1月13日

所属部課	局 長	課 長	担 当	連絡先
萩市教育委員会事務局 スポーツ振興課	井本 義則	増野 達史	藤原 昌隆	0838-25-7311
消防本部警防課	阿武 均	礪部 誠	日隈 充治	0838-25-2784

件 名	維新の里 萩城下町マラソン2022の開催中に起こった 救急搬送協力者に対して感謝状を贈呈しました
-----	---

令和4年12月11日（日）に開催した「維新の里 萩城下町マラソン2022」において、レース中に体調を崩し、心肺停止状態となった60代男性に対して、119番通報や、胸骨圧迫、AEDの使用などの救命活動を迅速・適切に行い、速やかに救急隊に引き継いだことで、男性を社会復帰にまで導くことができた事案がありました。

その救命活動にご協力を頂いた3名の方の勇気ある行動に敬意と感謝の意を表し、大会会長（萩市長）及び萩市消防長から、1月10日付けで感謝状を贈呈しました。

なお、贈呈者の方の要望により、感謝状贈呈式は実施せず、直接贈呈させていただきました。

〔感謝状贈呈者〕

- ・岡 恭子（おか きょうこ）さん 萩市在住
- ・山方 直也（やまがた なおや）さん 光市在住
- ・今永 明美（いまなが あけみ）さん 山口市在住

〔その他〕

感謝状贈呈に関するお問合せは、スポーツ振興課または警防課をお願いします。

記者発表（配付）資料

令和5年1月13日

所属部課	部 長	課 長	担 当	連絡先
萩市商工観光部 文化財保護課	小川 政則	中村 達也	神崎 紘充 佐藤 なつみ	0838-25-3835
萩市消防本部警防課	阿武 均	磯部 誠	渡 直人 佐々木 賢二	0838-25-2784

件 名	みんなで守ろう文化財！ 令和4年度（第69回）文化財防火デー行事の開催について
-----	--

萩市では、毎年、1月26日の「文化財防火デー」に併せ、その前後の日程において、文化財施設で消防講習会等を行っております。今回は、国指定重要文化財の東光寺を会場として、消防訓練を実施します。

- 1 目 的 文化財を火災等から守るため、消防機関、文化財関係機関及び付近住民等が一体になって消防訓練を行うことにより、初期消火体制を確立するとともに文化財愛護思想の高揚を図る。
- 2 日 時 令和5年1月21日（土）午前10時～11時30分（雨天決行）
- 3 場 所 東光寺（萩市大字椿東 1647 番地）
- 4 内 容 消防訓練
10：00 開会式
10：15 消防訓練開始
10：50 閉会式
- 5 参加者 ・文化財関係者（指定文化財所有者等）
・文化財管理者（住民団体及びNPO等）
・地元住民（椎原及び松本市町内会）他
※30名程度参加予定
- 6 主 催 萩市
- 7 その他 駐車場は別紙をご参照ください。



東光寺（大雄宝殿）



火災防ぎょ訓練の様子
（平成28年度文化財防火デー行事）

（参考：過去の実施状況）

- ・平成29年度 萩・明倫学舎（講義及び初期消火訓練）
- ・平成30年度 大照院（荒天により中止）
- ・令和元年度 青木周彌旧宅（講義及び初期消火訓練）
- ・令和2年度 東光寺（荒天により中止）
- ・令和3年度 伊藤博文別邸・旧宅（新型コロナにより中止）

【会場・駐車場・周辺図】



©Google

駐車場は、松陰墓所から坂を下った場所にあります

記者発表（配付）資料

令和5年1月13日

所属部課	部 長	課 長	担 当	連絡先
萩市商工観光部 まちじゅう博物館推進課	小川 政則	大槻 洋二	金田 農	0838-25-3290

件 名	明治中期に建築された歴史的建造物「渡辺蕎蔵旧宅」にて 「アート盆栽展」開催
-----	--

1月23日（月）から、大自然の恵みから生み出された花や木をアーティスティックに創り上げた作品を展示した、「アート盆栽展」を明治中期に建築された歴史的建造物「渡辺蕎蔵旧宅」で開催します。

※アート盆栽とは、布、レザー、クレイ（樹脂粘土）、紙粘土、ワイヤーを使い、^{そうか}創花の手法で作品を生み出す創作盆栽です。

記

- 開催期間 令和5年1月23日（月）～2月27日（月）
午前9時～午後5時 ※毎週水曜日は休館日
- 開催場所 渡辺蕎蔵旧宅（萩市江向5番地）
- 展示内容 アート盆栽 大小約30作品を展示
- 入館料 無料
- 制作者 日本手工芸指導協会師範 ^{おかの}岡野 ^{よしこ}芳子
- その他 期間中に、アート盆栽教室を開催します。
 - 日 時 令和5年2月24日（金） 午後1時30分～4時
 - 場 所 渡辺蕎蔵旧宅（萩市江向5番地）
 - 参加料 1,000円
 - 定 員 15人（先着順）
 - 申し込み 2月1日（水）～17日（金）に、まちじゅう博物館推進課へ
(0838-25-3290) ※平日のみ



記者発表（配付）資料

令和5年1月13日

所属部課	部長	課長	課長補佐	係長	担当	連絡先
萩市市民部 環境衛生課	中野 忠信	福場 正	田中 裕一	秋月 寛	佐伯 光洋	0838-25-3520

件名	寄付金贈呈式の開催について (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社からNPOエコプラザ・萩へ) 官・金・民連携SDGsの取組「ごみの地産地消の仕組みづくり」2年目に突入！！
----	---

NPOエコプラザ・萩は、SDGsで掲げる17の目標のうち、「6 安全な水とトイレを世界中に」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」の3つを対象に、昨年より、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社からの寄付金を活用して、「ごみの地産地消の仕組みづくり」（雑がみからトイレットペーパーを作製・使用する）をすることで、ごみの減量化を図る取組を進めてきました。

この度、NPOエコプラザ・萩は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から「ごみの地産地消の仕組みづくり」の取組に対し、昨年に引き続き寄付金を頂けることになりました。

つきましては、下記のとおり「寄付金贈呈式」を開催しますのでお知らせします。

萩市においても、両者と連携して普及・啓発活動を行い、広く市民及び市内の民間事業者が取組の輪を拡げ、萩市から出たごみを再生・活用できるよう、地産地消のサイクルを構築してまいります。

記

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



◆寄付金贈呈式

- 日時 令和5年1月31日（火） 午前10時～10時45分
- 場所 エコプラザ・萩 1F 展示スペース（萩市大字椿東4703番地49）
- 出席者 ○あいおいニッセイ同和損害保険株式会社《寄付者》
佐口 将孝（山口支店長）
関 隆 （山口支店地域戦略室長）
片桐 友彦（山口支店山口第二支社長）
宮國 希 （山口支店山口第二支社課長補佐）
木村 仁 （グリーンライフ損保株式会社 萩中央支店長）
○NPO萩市民活動ねっと 堀永 伶子 （副理事長）
○NPOエコプラザ・萩 口羽 公男（理事長）
村谷 充生（副理事長）
○萩市 田中 文夫（市長）
中野 忠信（市民部長）
福場 正 （市民部理事）
- 内容 （1）寄付の目的 ごみの地産地消の仕組みづくりのため
（2）寄付の内容 現金 100 万円

(3) その他

新たな雑がみ回収場所に萩市市民活動センター「結」が加わります。

寄付贈呈式の中で、「NPO萩市民活動ねっと」へ回収カートの貸与及びトイレットペーパーを贈呈します。

5. その他 萩市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、令和3年9月28日に包括連携協定を締結し、相互の連携を強化しながら地域の活性化に資する取組を進めています。

◆萩市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地域活性化包括連携事項

- (1) 地域の安全・安心及び防災・減災に関すること
- (2) 高齢者・障がい者支援に関すること
- (3) 産業振興に関すること
- (4) 観光振興に関すること
- (5) その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること

(包括連携協定を契機とした主な連携事項)

- 最先端の通信技術である「テレマティクス技術」を活用した安全運転推進イベント「セーフティドライブコンテスト」を開催し、ドライバーの安全運転意識を高め、「交通事故ゼロ」を推進。
- 企業版ふるさと納税による寄付を活用して、災害用充電器を購入。
- 市内事業所に対し、「事業継続力強化計画認定制度」の周知を図るため、WEBセミナーを開催。

◆あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の寄付制度の概要

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社では、地域貢献・社会貢献の取組の一環として、ペーパーレス保険証券・Web約款を導入されており、お客さまにご選択いただいたペーパーレス証券・Web約款の件数に応じて、環境保護活動を行う団体や東日本大震災の被災地への寄付等を行っています。

保険契約者に発行する証書や約款をペーパーレス化した結果、その作成にかかっていた紙などの資源やエネルギーの削減につながり、削減された経費分を環境団体に寄付するというものです。

トイレツトペーパーに生まれ変わるまでの旅

し ない し せつ
市内施設

とど
届ける

エコプラザ・萩

A wooden ballot box with a slot for votes, a small cartoon character sticker, and a label at the bottom. The label reads "投票箱" (Ballot Box) and "岡山県選挙管理委員会" (Election Management Committee of Okayama Prefecture).


 萩はぎのき木つかを使つかった
 かいしゅう
 回収ボックス



つつ
包む

A cartoon illustration of a man with a dark complexion, wearing a blue jumpsuit with a white logo on the chest, a blue cap, and black boots. He is holding a yellow object in his right hand.

トイレットペーパー^{さく}作^{せい}製

さく せい



ECOPLAZA.HAGI



ホームページ



6 安全な水と
トイレを
世界中に



11 住み続け
られる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

ち さん ち しよう し く ぜつ
ごみの地産地消の仕組みづくり(雑がみ
からトイレトペーパーをつくる)は、あいおい
ニッセイ同和損害保険株式
会社の寄付でエコプラザ・
萩が行っています。



ごみの地産地消の取り組みについて

えすでいーじーず かか もく ひょう
SDGsで掲げる17の目標のうち、



あん ぜん みず
「安全な水とトイレを世界中に」



す つづ
「住み続けられるまちづくりを」



せき にん せき にん たい しょう か ねん
「つくる責任つかう責任」の3つを対象に、可燃ごみからトイレット

ペーパーを作製・使用する、ごみの地産地消の仕組みづくりを、

官・金・民が一丸となり進めていく新しいプロジェクトです。

かみ
紙なら
なん
何でも
ええんじゃろ?



し げん だ
資源ゴミで出す
には抵抗のある
てい こう
個人情報の
こ じん じょう ほう
書いてある紙
か 書 いて あり 紙



ご じ
誤字だらけの
ラブレッターとか、
あか てん
赤点のテストとか、
ひと み
人に見られたく
ないもの…



どこで
あつめるほ?



こ じん じょう ほう か かみ
個人情報など書かれていた紙は、
いま も
今までは燃やせるごみとして、
しよ ぶん
処分してたんだ。

かみ
その紙をトイレットペーパーとして
ごみの地産地消をするんだよ。



エコプラザ・萩
かい しょう
に回収ボックス
があるから、その
なか い
中に入れりゃあ
ええほいね。



回収ボックス



これはダメです

- まど つき ふう とう
●窓付封筒 ●クリップ ●圧着ハガキ
- しゃ しん
●写真 ●プラスチック製の付箋



※再生紙70%で出来ています。

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

記者発表（配付）資料

令和5（2023）年1月13日

所属部課	部長	課長	課長補佐	係長	担当	連絡先
萩市農林水産部 農政課	大塚喜彦	市瀬公俊	平田敏郎	阿武浩二	市瀬公俊	0838-25-4192

件 名	山口県農業共済組合から感謝状の受贈について
-----	-----------------------

萩市では、本年度より、災害や病虫害などの農業経営リスクを軽減することを目的に、山口県農業共済組合が取り扱う収入保険の加入促進を図る事業に取り組んでいます。

この度、この取組に対し山口県農業共済組合より、下記のとおり感謝状が贈呈されることとなりましたのでお知らせいたします。

記

- 1 日 時 令和5年1月16日（月）午後2時から
- 2 場 所 萩市役所 2階 市長応接室
- 3 贈呈者（出席者） 山口県農業共済組合
組合長 東 信男（ひがし のぶお）様
理 事 仁保 正美（にほ まさみ）様
北部支所支所所長 伊藤 美樹（いとう よしき）様
班 長 竹重 欽章（たけしげ よしあき）様
- 4 事業内容
事業名 萩市農業経営を支える収入保険加入支援事業
事業目的 天候不順や病虫害被害等の農業経営のリスクを軽減するため、収入保険への加入促進することを目的とする。
対象者 収入保険加入者
補助内容 収入保険の個人負担の掛捨て保険料の1/2を補助（上限30万円）
令和4年度当初予算額 4,969千円

記者発表（配付）資料

令和5年1月13日

所属部課	局 長	局次長	担 当	連絡先
萩市議会事務局	須郷 誠	村本 行繁	大田 泰之	0838-25-3144

件 名	萩市議会1月臨時会開催について
-----	-----------------

このことについて、本日開催の議会運営委員会において、下記のとおり確認されましたのでお知らせします。

記

1. 1月臨時会の開催について

（1）提出議案

執行部提出 1件 … 議案第1号

令和4年度 萩市一般会計補正予算（第11号）

（2）会期及び議事日程

1）会 期 1月18日（水） 1日間

2）議事日程 午前10時開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号

議案上程（提案理由の説明）⇒ 議案質疑 ⇒（委員会付託省略を諮る） ⇒ 討論 ⇒ 採決
--



2023 年 1 月 13 日

萩・石見空港利用拡大促進協議会

萩・石見空港開港 30 周年記念ロゴマーク及び使用承認について

萩・石見空港利用拡大促進協議会(会長：益田市長 山本浩章)は、2023 年 7 月 2 日(日)に萩・石見空港が開港 30 周年を迎える事を記念したロゴマークを制作致しました。ロゴマークは、応援いただいている皆様が使用できるように致します。

記

萩・石見空港開港 30 周年の節目を応援いただいている皆様と一緒に盛り上げ、利用促進機運醸成のために、皆様が行う事業やイベントなどにロゴマークをご使用いただけます。ロゴマークを使用するにあたっては、事前に申請が必要となりますので、以下の申請書を提出してください。

■ロゴマーク



掲 載 期 間	2023 年 12 月 27 日までの期間に実施し、萩・石見空港開港 30 周年記念にふさわしいもの
申 請 期 間	2023 年 11 月 30 日まで
申 請 方 法	『萩・石見空港開港 30 周年記念ロゴマーク使用承認申請書』に必要事項を記入のうえ、事業内容の分かる資料等と一緒にメールにより提出してください。承認については、提出された申請書及び資料等で審査します。なお、承認を受けた事業については、事業終了後に 2 週間以内に実績報告書をメールにて提出ください。
申 請 先	airport@iwami.or.jp

詳細につきましては、萩・石見空港 HP よりご確認ください。

萩・石見空港 HP https://hagiiwami.jp/30th-anniversary_logo/



報道機関からのお問合せ先

萩・石見空港利用拡大促進協議会 (担当：福岡・渋谷)

TEL：0856-23-0990(平日 8：30～12：00／13：00～17：15 土日祝：休み)

E-mail airport@iwami.or.jp